

大津市外郭団体経営状況等調査票(令和6年度)

1. 团体概要

団体名称	一般社団法人 大津市スポーツ協会		作成担当課 所管課名	市民部 スポーツ課	
代表者名	会長 小野 清司		所 在	大津市石場10番53号	
設立年月日	令和4年 4月 1日				
基本財産	0 千円	市出資額(出資比率)	(地域スポーツ振興基金 への出捐金)	15,000 千円	(100%)
設立目的	大津市民の健康増進・体力向上及び競技力の向上に関する事業を行い、生涯スポーツの振興と健康寿命の延伸を図るとともに、青少年の健全育成並びに地域コミュニティの醸成に寄与することを目的とする。				
事業内容	(1) スポーツの普及振興に関する調査研究及び啓発事業の実施並びに指導 (2) 各種大会及び各種講習会等のスポーツ・レクリエーションに関する行事の実施 (3) スポーツに関する国際交流事業 (4) スポーツ功労者等の表彰 (5) 県民スポーツ大会への選手派遣事業 (6) 加盟団体の連携及び活動支援 (7) スポーツ振興事業等の受託 (8) その他、法人の目的達成のために必要な事業				
団体における 情報公開の状 況	媒体	☒ インターネット ☐ 紙媒体 ☐ その他() HPアドレス https://otsu-taikyo.com/			
	公開 内容	☒ 定款・寄付行為 ☐ 役員名 ☐ 評議員名 ☐ 財政状況 ☐ 組織情報 ☐ 経営改善計画			

2.組織の状況(令和6年4月1日現在)

单位:人

	役 員				職 員							計	
					正規職員				正規職員以外の職員				
	団体職員	市退職者	市職員	その他	団体職員	市退職者	市職員	その他	団体職員	市退職者	その他		
常 勤	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	4	
非常勤	0	0	0	25	0	0	0	0	1	0	0	26	
○役員の団体職員1名は、職員の3名のうちの1名が兼ねている。												合計	30

○役員の団体職員1名は、職員の3名のうちの1名が兼ねている。

※ 「役員」は理事、監事、取締役、監査役とする。

※ 常勤職員は、常時勤務を要する職員（原則、フルタイムで週5日勤務）、非常勤職員は常勤職員以外の職員（パートタイム等）とする。

3.職員の平均給与月額等の状況(令和6年4月1日現在)

正規職員(市派遣職員を除く)		常勤役員	
平均年齢(歳)	平均給与月額(円)	平均在任期間(年)	総報酬額(円)(令和5年度)
-	-	1年	-

4.財務情報

単位：千円

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸借対照表	資産合計	－	11,513	9,278
	負債合計	－	1,089	1,345
	正味財産(純資産)	－	10,424	7,933
正味財産 増減計算書	経常収益	－	35,289	18,770
	当期正味財産増減額	－	10,424	△2,491
	当期末正味財産残高	－	10,424	7,933

※正味財産増減計算書は、社会福祉法人の場合は「収支計算書」、株式会社の場合は「損益計算書」に読み替えるものとする。

5.大津市の財政的関与等

単位:千円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補 助 金	－	12,765	12,637
指 定 管 理 料	－	0	0
受 託 料	－	1,500	1,500
短 期 借 入 金	－	0	0
長 期 借 入 金	－	0	0
債務補償に係る債務残高	－	0	0
備 考	上記とは別に令和4年度に地域スポーツ振興基金への出捐金として15,000千円		

No.	主要な事業の概要 計画期間・事業の達成目標・実績	年度 事業費(円)	
		市支出額(円)	市支出割合
I	法人本部運営	令和4年度	
	○加盟85団体からの会費、スポンサー企業からの賛助会費、各種協賛金、大津市補助金その他の収入により、法人本部を運営した。 ○毎月定例で三役会を開催するとともに、4回の理事会及び2回の総会(評議員会)を開催した。	16,801,066	
		12,019,000	71.5%
		令和5年度	
		14,346,209	
	12,019,000	83.8%	
II	一般公益事業及び天津市民体育大会開催事業	令和4年度	
	○自主事業である「表彰式典」を開催し、功労者等25名、優秀選手等37名、2団体、その他学区対抗年間成績及び市民体育大会総合成績の優秀な学区を表彰した。 ○運動スポーツ実施率向上事業として軟式野球、サッカー、駅伝等8種目の学区対抗等の競技会を企画し、うち6種目を開催した(2種目は、悪天候等のため中止)。 ○水泳協会の「少年少女水泳教室」等加盟団体が開催する7種目の「教室」に補助を行った。 ○県民スポーツ大会の開催にあたり、運営費補助と選手派遣の補助を行った。 ○大津市民体育大会実行委員会の事務局として、大会開催の準備・運営の実務を担った。また、大会の在り方の見直しに着手し、検討委員会準備会を開催し、基本的考え方をまとめた。	4,322,857	
		2,245,485	51.9%
		令和5年度	
		4,190,324	
	2,117,515	50.5%	
III	地域スポーツ振興基金事業	令和4年度	
	令和4年度に造成した「地域スポーツ振興基金」を基に、「国スポ・障スポ機運醸成事業」及び「地域スポーツ振興事業」として令和5年度は次の事業を実施した。 ○小中学生陸上競技教室 ○ジュニア育成バレーボール教室 ○初心者バドミントン教室 ○シニアサッカー選手権大会 ○バスケットボール体験教室 ○大石緑地テニスコートリニューアル記念テニス教室 ○車いすバスケットボール体験教室 ○2023年度大津市民スポーツフォト・コンテスト ○女子サッカー教室 ○ビームピストル体験教室	5,127,976	
		5,127,976	100%
		令和5年度	
		2,544,221	
	2,294,221	90.2%	

7.改善、見直しの取組実績

年 度	取組内容・改善、見直し内容
令和4～5年度	令和4年4月の法人化により組織体制を整備したが、引き続いての体制整備と法人運営の確立にむけて、令和5年度においても理事定数の見直し等組織の在り方について改革を実施した。
令和5年度～	法人としての自主自立を進めるための自主財源として、令和5年度から計画的に賛助会員の拡大等に取り組み始めた。社会経済情勢の影響もあり、賛助会員確保は厳しい状況であるが、継続して取り組んでいる。
令和5年度～	上記の課題と関連して、スポーツ協会の認知度を高める必要があることから、広報活動にも注力することとしており、令和4年度から5年度にかけてホームページの見直しを行い、令和6年度には新たに広報誌の発行を計画している。

課 題	対 応 方 針
法人の自立化	令和4年度から7年度までを、法人化による安定した協会運営を確立するための集中強化期間と位置付け、①自主自立、②信用・信頼、③多様な事業展開、④施設管理の受託、⑤会計の透明性、⑥リスクマネジメントを目的とした組織強化4か年計画を策定している。計画では自主財源の確立を大きな課題とし、施設管理の受託等も含めた方針を掲げているが、現時点での中間的総括を行い、より現実的な方針として「改革ビジョン」を定めた(6年度当初)。
法人体制の整備 法人運営の確立	コンプライアンスの遵守、執行部のガバナンスの確保、効果的かつ効率的で迅速な意思決定等を旨とした組織運営ができるよう、継続して組織体制の改善を推進していく。
事務局体制の確立 職員の安定雇用	安定して組織運営・協会事業の実施ができる事務局体制を整備する必要があり、「改革ビジョン」に則して事務局員の安定雇用等に向けて協会の効果的な予算執行と自主財源の確保に向けた取組を推進していく。
自主財源の確保	4か年計画では、自主財源の確保策として、①既存事業の見直し、新規事業(新たな収益事業)の創設、②賛助会員等の拡大、協会加盟費、参加費の改定、③施設の管理(指定管理)等を掲げているが、既存の管理団体の事情も含め、施設管理等はきわめてハードルが高く、4か年のうちに実現するには困難と思われる。 自主財源の確保の方向としては、①賛助会員等の拡大、②大津市の補助事業等の在り方を含めて、協会が努力すればその分が収益につながる仕組みの再ルール化(協会の本業であるスポーツ関連の取組を収益化するため、市民体育大会を含めた大津市・協会共催事業の広告料等の収益化、大会参加料の協会収益化等)、③既存の負担金、補助金事業を含む大津市のスポーツ行事・事務等の委託への変更など、検討を進める。
協会認知度の向上	賛助会員の拡大等のためには、協会の認知度の向上も必要であることから、これまでにない広報活動が求められる。そのため、協会の新たな広報誌の発行等も行い、賛助会員となるメリットを作り出す。